

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	飛騨神岡高校の体験実習に協力・事業所が行う行事に近くの小学校生や地区住民の参加が得られた	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	一人では自分らしく生きる事が困難な入居者の共同生活を一人ひとりの尊厳と自立を支えていくよう職員で日々実践している	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	パンフレットやホーム内の見やすい場所に明確に提示している	○  地域の方の訪問時や運営推進会議等で報告し、民生委員の方にもお願いを呼びかけている
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の人からは野菜や花などいただいたり日常的に訪問していただき いろいろな話題を聞くことができる いつも野菜・くだものやお菓子などを頂き近所の人達と交流があります	○  高齢者を持つ地域の方々の相談にのり、交流を深めるための取り組みをしていきたい
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	災害や火災・地震などの時協力が得られるよう地域の人達にお願いしている 地区の民生委員や関係者の会合に出席し交流を図っている	

岐阜県 しましまハウス寺林

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者との交流があり相談事や情報提供を行っている		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 ○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	危険な物の保管場所に必ず鍵をかけ安全に保つようになっている 外部評価で指摘された狭い風呂が広くなった		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日々の生活の中から問題点をみつけ改善出来るよう話し合い、より良いサービスの向上に努めている		
9 ○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者会議に出席しサービスの向上に向けた情報を得ている		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人はそれらを活用できるよう支援している	市の会議やグループ協議会で学び職員で話し合っているが今のところ活用までしていない		
11 ○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	おおむね職員全員認知症介護実践者研修を受講してお互い日々防止に努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12 ○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族に対して十分説明し納得してもらえるよう努めている		
13 ○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を備え意見・不満・苦情を気軽に表せるようになっている 第三者への機関も利用できる様ポスターに提示している		
14 ○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	一ヶ月に一回「ホーム便」や必要に応じて近況を報告し金銭出納帳を作り個々に報告している	○	近況報告にて家族より「安心しました」などの言葉が聞かれるので、続けていきたい
15 ○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設け意見等が表せるようにし第三者が同席の会議などで公表し改善に向けている 外部評価の結果も会議の時公表している		
16 ○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者も参加するミーティングなどで意見交換をし運営に反映させている		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況によって勤務時間帯を変化させ対応している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ほとんど移動がなく初めからのスタッフである		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験や力量に応じて必要な研修が受けられるようになっている 研修の報告は全ての職員が閲覧できるようにしている	○	研修内容で良いところはミーティングなどで話し合い質の向上に努めたい
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に一回飛騨市、高山市、下呂市のグループホームやケアマネ会議で交流を持ち勉強会を行っている。介護サービス担当者会議に出席している他のホームの推進会議にも参加している	○	今後多くの交流を持てるよう参加出来るものはしていきたい
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員相互の親睦を持ち悩みの聴取でストレスを軽減している		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働くように努めている	本人の希望で資格取得の機会をもてるよう配慮されている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聞く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人や家族が来訪された時は日頃困っている事、不安な事、今後の生活での希望などを聞くようにしている	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聞く機会をつくり、受けとめる努力をしている	日常の生活状態をくわしく聞き家族とともに解決策を考えるようにしている	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	一つの解決策に固執しないで他のサービスも考え本人家族が一番良い方法をさぐっている	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するため、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の意向を考えを十分に把握し安心して雰囲気に馴染めるように努めている	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の生い立ち生活歴などを考慮し人生の先輩として一緒に学びあう関係を築いている わらび・ぜんまい、ふきなど山菜の処理を入居者に聞きながら一緒に作業している	

岐阜県. しましまハウス寺林

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の関係を密にし一緒に考え改善策を模索し実行している		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	信頼を得るよう小さいな出来事でも連絡し共に考え良い方法を模索している	○	誕生会や施設の行事に家族の方の参加が得られるよう考えていきたい
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者の訪問者や電話などは丁寧に対応し信頼関係を築いている		
31 ○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	認知症のレベルや性格等にかかわらず入居者同志が一緒に生活する仲間となっていけるように支援している	○	自然な日常介護を目指し、今まで家にいた環境作りを大切にし、多少の利用者同士の口争いもかえって自然と考え、不快感を与えない程度に見守りしている
32 ○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入居者が他の施設病院へ転居されても折にふれ近況を聞いたり相談にのったりしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その人らしい暮らし方や考えを本人や家族に聞き把握するようにしている	
34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりがその人らしく暮らしていく様これまでの生活歴や馴染みの暮らし方からなどを知り実行している  お茶の先生だった入居者にはお茶をたててもらう機会を作っている  調理人だった入居者に料理の下準備や盛り付けをしてもらっている	
35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その日の健康状態気持の変化など総合的に考えるよう努めている	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	その人らしくより良く暮らせる様身体の状態も合わせその都度ケアプランを家族と話し合いながら作成している	○  遠方の家族にはプランの相談を手紙ですることが多いので、直接合って相談できるように見当している
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	身体の状態に応じてとりあえずの仮プランを立て様子をみながら変化に対応し、プランの見直しを行っている	

## 岐阜県 しましまハウス寺林

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の日々の変化を介護記録に記入し介護計画の見直しに活かしている トイレの排泄の記録記入を行っている		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	頻繁にカラオケが出来る部屋でレクレーションを兼ね歌を楽しんでいる		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	図書館から本人の選んだ本を借り読書を楽しんでいる		
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャー やサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のホームの運営推進会議、ケアマネ会議に出席し情報を得て良いサービスの提供に努めている	○	地域で催し物の誘いがあった時家族の協力があると参加しやすいのではと思われる所以見当していきたい
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	支援センターから入居者の紹介や入居後のケア内容の相談介護保険の更新の手続きなど情報を共有している		

岐阜県 しましまハウス寺林

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	市民病院から月一回往診があり場合によっては専門医の受診も出来る		
44 ○認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	市民病院の脳外科や認知症外来を利用している		
45 ○看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ケアマネージャーが市民病院の職員だった為細かい連絡が出来医療の支援が出来ている		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中はなるべく職員が見舞いに行き利用者が安心して早期退院できるよう努めている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期になり食事が摂取できなくなったら家族と話し合いで医療施設も見当される		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいく。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在寝たきり状態の利用者が入所中であるが医療行為が出て来ると無理だと感じているが家族と今後については話し合っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	介護サマリーを作成し本人家族に渡し不安にならないよう努めている		

**IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援****1. その人らしい暮らしの支援****(1)一人ひとりの尊重**

50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入所時の契約時に個人情報の説明をし署名捺印をしてもらっている 個人情報となる物（書類等）は全て入居者や外来者の目の付かない所に保管している		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	誕生日会など行事の日は入居者の希望にそったメニューにしている		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	カラオケや近くの散歩を希望によって楽しんでいる		

**(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援**

53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	スタッフが理容師なので施設内で本人の希望にそって髪を整えている 本人家族の希望で店へ出かける方もいる		
--	---	--	--

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お祭りの時は赤飯 彼岸はおはぎお正月はおせちなど行事に合わせて工夫している		
55 ○本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お正月はおとそ 寒い日はあまざけ 夏の日はすいか、アイスクリームなど季節に応じて支援している		
56 ○気持よい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄のパターンを知りさりげなく声掛け誘導し介助している 失敗しても手早く処置しダメージを少なくしている		
57 ○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調の悪い時以外本人の希望にそって入浴できるよう支援している	○	市より入浴券が発行されているので温泉入浴を楽しんでいるが、今後回数多く行けるように努めたい
58 ○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの疲労や緊張の度合いに応じてこまめに休息が取れるように支援している 特に外出の後や入浴後は十分休息をとるようにしている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備後片付け、洗濯物干しやたたんだり、食材の下準備、部屋の掃除、花の手入れなどその人に合った役割で支援している お茶の先生だった入居者には食事のお茶の準備をお願いしている ミニ菜園で畠仕事をやり収穫の喜びを味わう		

岐阜県 しましまハウス寺林

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	使わずとも自分で持っていることで安心する人ちょっとした買物を楽しむ人もいます 訪問した際にこづかいで渡す人もいます		
61 ○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の買物と一緒に出かけ自分の買物も出来る機会を作っている		
62 ○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に一回一日かけ遠くへ出かけている 今年は富山のファミリーパークと回転寿司に出かけた 7月に3施設合同の運動会を行い家族、近所の子供達、民生委員、市の職員たくさんの方の参加で行いました		
63 ○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や知人に電話出来るよう支援している 家族への年賀状、暑中見舞いなど出している		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	常に訪問者にはゆっくり過ごしてもらい入居者の時間を大切にしている 家族との写真撮影をし部屋に飾り喜ばれている		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>			
65 ○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行わないということをすべての職員が正しく認識しており身体拘束のないケアを実践している		

岐阜県 しましまハウス寺林

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者の自由は暮らしを支え入居者や家族等に心理的な圧迫をもたらさないよう日中は玄関に鍵をかけない		
67 ○利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は常に入居者を見守りやすい場所において一人ひとりの位置や様子を把握している		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物品は一ヶ所にし職員の目の届く所に保管しているが入居者の希望でいつでも使用できる		
69 ○事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	入居者に応じて想定される危険を全職員で把握し事故防止につなげている		
70 ○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の避難訓練や救急処置の訓練を受けている		
71 ○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	近隣の人に火災、地震、水害等の災害時に協力をお願いしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入居者の身体状況に応じた対応をしている 早めに家族に話し理解してもらっている 歩行が不安定な入居者が夜間は部屋でポータブルトイレを使用している		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73 ○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックをし体調の変化の早期発見に努めている		
74 ○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々のバイタルのファイルに処方薬の説明書があり職員は用法や用量について理解している		
75 ○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	バイタルチェックで便秘の有無を確認している 一人ひとりに合った排泄支援を行っている		
76 ○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	入居者の力を引き出しながら口の中の汚れや臭いが生じないよう口腔の清潔を日常的に支援している		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	夜水分補給の為麦茶をペットボトルに入れ飲んだ量をチェックしている		

## 岐阜県 しましまハウス寺林

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	毎年インフルエンザの予防注射をしている 外出後食事前にはうがいや手洗いを行っている 感染症対策マニアルや感染症に関する情報のファイルを作っている 感染症対策として常に拭き掃除等はハイターで行っている		
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	運ばれてくる食材は保冷剤が入っていて安全で直冷蔵庫に入れ品質管理し衛生に気をつけ食中毒予防に努めている		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入居者の自由な暮らしを支え入居者や家族等に心理的圧迫感をもたれないよう日中は玄関に鍵をかけないですむような配慮をしている		
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の生活空間が家庭的な雰囲気で調度や設備や装飾も家庭的である 季節感を感じられる調度や花が常に配置してある		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いに過ごせたりお互いに距離をもって過ごせるリビングの場所にソファーがあり気の合った仲間で話が弾んでいる		

岐阜県. しましまハウス寺林

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具や生活用品装飾等が持ち込まれ安心して過ごせる場所となっている		
84 ○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	入居者の状態や反応を見ながら出来るだけ自然環境に近い換気空調管理を行っている		
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床の滑り止めや要所の手すりの設置 浴槽、便座、流し台等使い勝手の工夫がある		
86 ○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	職員に頼らず入居者が自分の力で動ける環境作り 一人でやれる事の安心と自由 自信を高めていくための場所が分かるようにしている		
87 ○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭には季節の花が沢山ありいつでも楽しむ事が出来テントの中でティータイムを楽しむ事が出来る		



部分は外部評価との共通評価項目です )

## V. サービスの成果に関する項目

項 目		取 累 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しづつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

年に一回3施設合同の親睦を兼ね一日遠足に出かけます 今年は富山のファミリパークに行き近くの回転寿司で楽しい昼食でした  
7月には合同の運動会がありたくさんの家族や近所の子供達、関係者の協力で盛大でした